第十六回りんり俳句大賞　投句用紙【高校生用】

★応募に関する注意点★

※最大5名の生徒を一組とし、一組につき一人の先生の投句（一句もしくは二句）が必要です。
※本人が創作した未発表の作品とし、一期につき一人二句以内とします。
※作品の著作権は当財団に帰属するものとし、返却はいたしません。

★りんり俳句創作のワンポイントアドバイス★

俳句は日々感動した瞬間をいかに切り取り写生し表現できるかが勝負です。
明日になったら心変わりしてしまい、何が心に映っているか分かりません。
世の中も変わっていきますし、そこに人も関わりを持ちます。その中で表現されて生まれる俳句も当然変化し、全く違ってくるものです。
毎日違う作品が出てくる可能性を秘めているところに俳句の魅力があります。

★次の十一月から一月の季語を参考に、自由に俳句を作ってみましょう★

神無月　冬の朝　霜柱（しもばしら）　忘年会　冬休み　手袋　焼き芋　焚火（たきび）
落ち葉　息白し　七五三　日向（ひなた）ぼこ　クリスマス　お正月　去年今年

キリトリ

【投句用紙】　第十六回・三学期の部（高校生用）

●部　門（・高校生　・教師）（〇で囲む）　　担当教師名（　　）

（都道府県）　学校名 （　　）	学年	年
ふりがな 氏　名	性別	男・女

〇出来るだけ漢字を使い、間を空けずに書いて下さい。

締切　二〇一八年一月二十三日（必着）